



沖縄から三生

小刀でさぐり
薔薇色の血汐に接吻する
お前は残酷な惡魔
僕の脳髄をさへ蝕む
安價な額は未來派の書家
私の耳の中で蟬が冬眠して
静寂

月はも早や憂鬱ではある
まい

毛虫の様な恰好であるに
違ひない

香の香や土間に積まれ
し年貢米

密下にひそと置かれし
音柳子

青寫眞

かくらの

からであらう

どこかできじの鳴き聲が

は何とも云はずに反げぞつ

たり。危く消えやうとした

二番目に来た侍が、かう

して突いた

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

「や」各々早くこれへ姿

つて來た佛法僧、ひやとい

ふほど瀧之丞の額をくちば

ひながらも、拳を固めて頭

上を拭ふ

「わ」怪鳥だよ。あの晩

が、四人のうち誰もそれ

が、四人に倒れてしまつた

「タリ倒れてしまつた

松明にかゝつた時である。

「胡散な奴、油斷するな」

四人の侍の行く手に、もう

あらう。峰を渡る山の

夜風、丘から丘へ、うなづ

て走る。松明はそれがため

差引の結果に於ては依然増加の大勢を持続

最近一句間の發送統計

界
朗
か

最近兩三旬來連續
の増送を以て正常
復歸と目された常
態炭界は去る十一
月より二十日迄の統計中營
業用に於て若干の赤字を示
したが省用に於て之を補填
して餘りある増量となつて居
るので結局に於ては依然
増加の大勢を崩さない、即
ち該一句間の發送高は

二八〇車二八、七六六噸

合計六、〇〇八車七五、
四一七噸

で前年同期に比し營業用三

五七車二、六七五噸を減じ

たに反し省用に於ては三六

五旅數を併せ千四百餘名の

其他各紹介所との連絡で郡

方針を説明後木田局長より

是或は片倉女工の三百八十八

人數を筆頭に四百五十四名

林屬から子女身賣防止對策

多きに上つてゐる、求職者

さく細説明あつた後既報の

諸件に就き協議した

既報一平職業紹介所連絡町

村打合會は今二十二日午前

九時から平町會議事堂で木

田賣森職業紹介事務局長、

關係五十餘名出席

此の月末には昇格もあるの

で何れもホクヽ顔た

九時から三割で平均約五割

で前年同期に比し營業用三

五七車二、六七五噸を減じ

たに反し省用に於ては三六

五旅數を併せ千四百餘名の

其他各紹介所との連絡で郡

方針を説明後木田局長より

是或は片倉女工の三百八十八

人數を筆頭に四百五十四名

林屬から子女身賣防止對策

多きに上つてゐる、求職者

さく細説明あつた後既報の

諸件に就き協議した

既報一平職業紹介所連絡町

村打合會は今二十二日午前

九時から平町會議事堂で木

田賣森職業紹介事務局長、

關係五十餘名出席

此の月末には昇格もあるの

で何れもホクヽ顔た

九時から三割で平均約五割

で前年同期に比し營業用三

五七車二、六七五噸を減じ

たに反し省用に於ては三六

五旅數を併せ千四百餘名の

其他各紹介所との連絡で郡

方針を説明後木田局長より

是或は片倉女工の三百八十八

人數を筆頭に四百五十四名

林屬から子女身賣防止對策

多きに上つてゐる、求職者

さく細説明あつた後既報の

諸件に就き協議した

既報一平職業紹介所連絡町

村打合會は今二十二日午前

九時から平町會議事堂で木

田賣森職業紹介事務局長、

關係五十餘名出席

此の月末には昇格もあるの

で何れもホクヽ顔た

九時から三割で平均約五割

で前年同期に比し營業用三

五七車二、六七五噸を減じ

たに反し省用に於ては三六

五旅數を併せ千四百餘名の

其他各紹介所との連絡で郡

方針を説明後木田局長より

是或は片倉女工の三百八十八

人數を筆頭に四百五十四名

林屬から子女身賣防止對策

多きに上つてゐる、求職者

さく細説明あつた後既報の

諸件に就き協議した

既報一平職業紹介所連絡町

村打合會は今二十二日午前

九時から平町會議事堂で木

田賣森職業紹介事務局長、

關係五十餘名出席

此の月末には昇格もあるの

で何れもホクヽ顔た

九時から三割で平均約五割

で前年同期に比し營業用三

五七車二、六七五噸を減じ

たに反し省用に於ては三六

五旅數を併せ千四百餘名の

其他各紹介所との連絡で郡

方針を説明後木田局長より

是或は片倉女工の三百八十八

人數を筆頭に四百五十四名

林屬から子女身賣防止對策

多きに上つてゐる、求職者

さく細説明あつた後既報の

諸件に就き協議した

既報一平職業紹介所連絡町

村打合會は今二十二日午前

九時から平町會議事堂で木

田賣森職業紹介事務局長、

關係五十餘名出席

此の月末には昇格もあるの

で何れもホクヽ顔た

九時から三割で平均約五割

で前年同期に比し營業用三

五七車二、六七五噸を減じ

たに反し省用に於ては三六

五旅數を併せ千四百餘名の

其他各紹介所との連絡で郡

方針を説明後木田局長より

是或は片倉女工の三百八十八

人數を筆頭に四百五十四名

林屬から子女身賣防止對策

多きに上つてゐる、求職者

さく細説明あつた後既報の

諸件に就き協議した

既報一平職業紹介所連絡町

村打合會は今二十二日午前

九時から平町會議事堂で木

田賣森職業紹介事務局長、

關係五十餘名出席

此の月末には昇格もあるの

で何れもホクヽ顔た

九時から三割で平均約五割

で前年同期に比し營業用三

五七車二、六七五噸を減じ

たに反し省用に於ては三六

五旅數を併せ千四百餘名の

其他各紹介所との連絡で郡

方針を説明後木田局長より

是或は片倉女工の三百八十八

人數を筆頭に四百五十四名

林屬から子女身賣防止對策

多きに上つてゐる、求職者

さく細説明あつた後既報の

諸件に就き協議した

既報一平職業紹介所連絡町

村打合會は今二十二日午前

九時から平町會議事堂で木

田賣森職業紹介事務局長、

關係五十餘名出席

此の月末には昇格もあるの

で何れもホクヽ顔た

九時から三割で平均約五割

で前年同期に比し營業用三

五七車二、六七五噸を減じ

たに反し省用に於ては三六

五旅數を併せ千四百餘名の

其他各紹介所との連絡で郡

方針を説明後木田局長より

是或は片倉女工の三百八十八

人數を筆頭に四百五十四名

林屬から子女身賣防止對策

多きに上つてゐる、求職者

さく細説明あつた後既報の

諸件に就き協議した

既報一平職業紹介所連絡町

村打合會は今二十二日午前

九時から平町會議事堂で木

田賣森職業紹介事務局長、

關係五十餘名出席

此の月末には昇格もあるの

で何れもホクヽ顔た

九時から三割で平均約五割

で前年同期に比し營